



建築概要

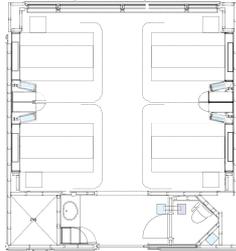
- 敷地面積 57,873.92㎡
- 建築面積 17,715.59㎡
- 延床面積 67,396.19㎡
- 構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造
免震構造、地上12階、塔屋1階
- 駐車台数 560台
- 工事期間 14年12月～17年1月

病室の設計コンセプト

住宅のような快適さと病室機能のコラボレーション

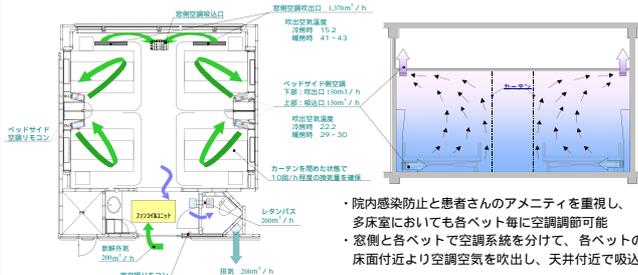
- 高知の強い日差しを制御するバルコニーとルーバー
- 患者さんが開け閉めしやすい小窓を設け通風自然換気のしやすい開口部
- 1床、4床共ベッドサイドで個別空調調節可能な空調システム：置換空調
- 患者さんの利用と緊急時の医療機能を考慮した隠蔽型医療ガスアウトレット
- 寝た状態でも起きた状態でも影になりにくい無影灯機能を持った読書灯
- 健康な生体リズムに合わせた照明制御：サーカーディアン照明

病室の形態（多床室）



日差しを制御するバルコニーとルーバー
ベッドサイド端末、冷蔵庫、貴重品入れ
ロッカー、トイレ（共用）
洗面台（共用）

病室の空調システム（置換空調方式）



- 院内感染防止と患者さんのアメニティを重視し、多床室においても各ベッド毎に空調調節可能
- 窓側と各ベッドで空調系統を分けて、各ベッドの床面付近より空調空気を吹き出し、天井付近で吸込

病室の空調システムの実測

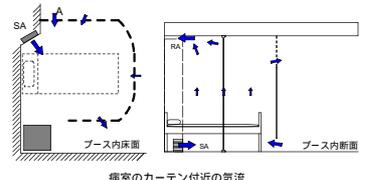
冷房運転、暖房運転の温度、気流、換気効率についてベッドまわりと室中央のある高さ毎に測定をおこなった。



病室の測定点（平面）

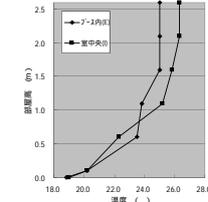
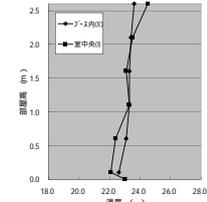


病室の測定点（断面）



冷房運転

暖房運転



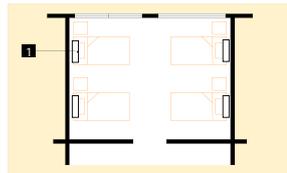
- ・ベッドまわりは室中央より高さによる温度変化が少なく、患者さんにやさしい温度で吹き出している。
- ・ベッドまわりは室中央より低い部分で暖かく、高い部分で温度が高くなりすぎないの省エネ効果がある。

病室の照明システム

間接照明による全体照明で我が家にいるようなあたたかさ
寝た状態でも起きた状態でも影になりにくい機能を持った読書灯



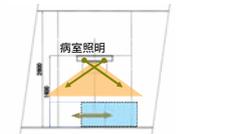
4床病室



4床病室平面配置



- ・反射鏡制御により天井面をむらなく照射
- ・壁面への直接光を抑え輝度（まぶしさ）を緩和
- ・個々の手元で自分のまわりの照明をコントロール可能



- ・ランプを交差させワイドで死角のない広がり
- ・ベッドの位置や患者さんの体勢の違いでも影になりにくい

病室の医療ガスアウトレット

緊急時のみ使用可能のように隠蔽された医療ガスアウトレット
普段は写真などを飾るピンナップボードとして使用



通常時



緊急時

自己評価

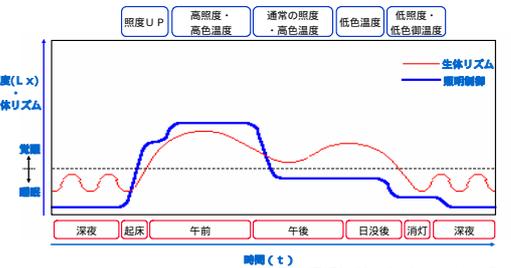
評価項目	評価内容	達成率	達成	未達成
建築費	設計費削減、施工費削減、材料費削減	95%	○	○
工期	工期短縮	90%	○	○
品質	品質向上	95%	○	○
環境	環境配慮	90%	○	○
安全	安全対策	95%	○	○
健康	健康配慮	90%	○	○
利便性	利便性向上	95%	○	○
コスト	コスト削減	90%	○	○
その他	その他	95%	○	○

サーカーディアンライティングシステム

医療・福祉における照明は不眠症などの体内時計のくまを太陽光の1日の流れに沿った人工照明を制御して治療の試みが行われている。急性期回復医療・緩和ケア・精神的ケアを目的として特1床室に採用した。



特1床病室



1日の照明制御スケジュール（例）

